

競技者必携 2012 の改訂について

平成 25 年 2 月 24 日

頁	現 行	改 正	改正根拠
4	第 2 図 A・B	第 2 図 A・B 削除	規則改正
5	いったんバウンドして内野から外野へ越えて行く場合は、A B 両地点を過ぎるときに、フェア地域内又はその上方空間であった場合は、その後ファウル地域に出ても、フェアボールである。	バウンドしながら内野から外野へ越えていく場合には、 <u>一塁または三塁</u> を基準として判断すべきであって、 <u>一塁または三塁</u> を過ぎるときに、フェア地域内かまたはその上方空間にあった場合は、その後ファウル地域に出てもフェアボールである。	規則改正
6	第 2 図 A・B	第 2 図 A・B 削除	規則改正
7	バウンドして内野から外野に越えて行く場合は、A B 両地点を過ぎるときに、ファウル地域内またはその上方空間であった場合は、ファウルボールである。	バウンドしながら内野から外野へ越えて行く場合には、 <u>一塁または三塁</u> を基準として判断すべきであって、 <u>一塁または三塁</u> を過ぎるときに、ファウル地域内かまたはその上方空間にあった場合は、ファウルボールである。	規則改正
10	投球姿勢	野球規則 巻頭 P (13) 参照	規則改正
67	8 【答】三塁走者をアウトにしたのは誤りである。打者の両足が完全に打者席を出たところで打球に当たれば、打者アウトで走者を三塁へ戻す。しかし、片足が打者席に残っているときは、ファウルボールである。(6.05g、2.32注一関連)	8 【答】三塁走者をアウトにしたのは誤りである。打者の <u>片足</u> が完全に打者席を出たところで打球に当たれば、打者アウトで走者を三塁へ戻す。(6.05g、2.32注一関連)	規則改正
123	投球姿勢 5 【答】ワインドアップポジション—軸足を投手板に触れ、自由な足を投手板上か、投手板の後縁とその延長線より後方に置く。(8.01a)	5 【答】ワインドアップポジション—投手は、打者に面して立ち、その軸足は投手板に触れて置き、他の足の置き場所には制限がない。ただし、他の足を投手板から離して置くときは、足全体を投手板の前縁の延長線より前に置くことはできない。	規則改正
123	6 【答】ワインドアップポジションの場合でも、セットポジションの場合でも、軸足は全部を投手板の上に置くか、軸足の側面を投手板の両横にはみ出さないように、ぴったり投手板の前縁に触れて置かなければならない。(8.01a、b、投球姿勢の図参照)	6 【答】ワインドアップポジション、セットポジションの場合でも、その軸足の全部を投手板上に置くか、投手板に触れて置かなければならない。(8.01a、b、投球姿勢の図参照)	規則改正

154	<p>六、2 バッターボックス外（フェア地域）で当たったときは、打者をアウトにする。ただし、バッターボックス外で当たったときでも、打者の片足がまだバッターボックス内に残っているときはファウルボールである。</p>	<p>六、2 バッターボックス外（フェア地域）で当たったときは、打者をアウトにする。ただし、バッターボックス外で当たったときでも、打者の両足がまだバッターボックス内に残っているときはファウルボールである。</p>	規則改正
173	<p>「故意落球」 ○宣告 球審は、ホームプレート前方、ダイヤモンド内に移動して、右手で野手を指さし「故意落球」と宣告し、「バッターアウト」をコールする。続いて「ボールデッド」の状態にするために、「タイム」を宣告する。</p>	<p>「故意落球」 ○宣告 球審は、ホームプレート前方、ダイヤモンド内に移動して、「タイム」を宣告し、右手で野手を指さし「故意落球」と宣告し、「バッターアウト」をコールする。</p>	審判メカニクス改正
177	<p>「打撃妨害」または「インターフェア」 ○宣告 球審は、捕手を左手で指さして「打撃妨害」と宣告し、直ちに「タイム」を宣告して、三塁走者の進塁（得点）を認め、続いて打者を一塁に進める。 また、他に走者がある場合は、盗塁行為の有無に関係なくポークによって一個の進塁を認める。</p>	<p>「打撃妨害」または「インターフェア」 ○宣告 球審は、「タイム」と宣告し、捕手を左手で指さして「打撃妨害」と宣告し、直ちに三塁走者の進塁（得点）を認め、続いて打者を一塁に進める。 また、他に走者がある場合は、盗塁行為の有無に関係なくポークによって一個の進塁を認めしる。</p>	審判メカニクス改正
196	<p>故意落球 プレーヤーを指さして“故意落球”とコールし“バッターアウト”“タイム”と宣告する</p>	<p>故意落球 まず、「タイム」、野手に向かって右手でポイントして「故意落球」を宣告し、そして打者に「バッターアウト」を宣告する。</p>	審判メカニクス改正